

はじめに

学 校 長

何のために学ぶのか？個人の人生を価値あるものとする目的の他、社会の一員として、その豊かな発展に寄与する人材となることも期待されることの一つです。次世代は皆さんが引き継いでいくのです。

皆さんのこれからの人生は長く、そして可能性は無限に広がっています。しかし、皆さんの先にある未来は人類がこれまで経験したことがない、変化の激しい時代です。社会の制度、文化、そして人々の意識や習慣・行動もこの先、短いスパンで変わっていくでしょう。皆さんは、この激しく変わりゆく時代を生き、切り拓いていかなければなりません。責任の重い、難しいことですが、皆さんには先の見えない社会の先頭に立つフロンティアとして期待がかかっています。

先の見えない社会とは言え、新聞やニュースで社会の動きに注目すれば、ヒントは沢山あります。人生100年時代、定年延長、年金支給開始年齢引上げ、国民全員活躍時代、女性活躍、働き方改革、Society5.0時代（サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会）。ここから見えてくるのは、皆さんの時代は働き、社会に関わる時間が長期化すること、新しく創出される職業がある一方、無くなる職業もあること。これまで以上に生活や社会に関することが情報化されること。変化する社会で生きるためには変化に対応できる汎用的な能力を身に付ける必要があることです。

キャリア教育は次の進路のための近視眼的な教育ではありません。長い職業生活においても、生涯にわたり自分自身を高める活動においても必要とされる知識や能力、態度を育てる教育です。次世代を見据えた新学習指導要領には、育むべき能力の一つとして情報活用能力が挙げられています。適切な道筋にたどり着くためには、正しい情報、時宜を得た情報を得て、それを活用することが必須であるためです。

多摩高等学校は、皆さんが手にしている「進路の手引き」を初め、様々な場面で最新の情報を提供すると共に、皆さん自身が情報を入手し、それを基に、自身の進路、人生を考えるように導く仕掛けを持っています。また、本校が文部科学省から指定を受けているSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の取組みにおいて獲得を目指している論理的思考力、課題発見・解決能力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力、国際性、これらの能力も、グローバルで正解のない社会で、自分自身の生きる道を切り拓く助けとなるはずです。

遠く高い頂に立つためには、一步一步、目の前の山を越えていかなばなりません。人生における高い目的を定めた皆さんであれば、その目的を達成しうる知識や能力の獲得のために大学等の上級学校で更に深い学問を究めることを望んでいることでしょう。

この冊子が皆さんの中・長期的な目標達成に向けた活動の一助になることを願っています。